

2018 年度 第 1 回通常総会
議事抄録

1. 日時：2018 年 7 月 14 日（土）15:30～16:30（日本時間）
2. 場所：聖心女子大学 4 号館 聖心グローバル共生プラザ 2 階 4-2 教室
3. 出席者
出席者：22 名（うち、委任状提出者 0 名） ※別添：出席者一覧
議長：中村 賢二
議事録：山口 佳小里

4. 議事内容

(1) 議長の選任

事務局の推薦：中村賢二 →承認

(2) 定足数の確認（中村）

28 名の登録予定者数のうち 22 名の出席（1/5 以上）により総会成立 →承認

(3) 議事録署名人の選任（河野）

石井清志（理事）、林寿恵（事務局） →承認

(4) 審議事項

1) 第 1 号議案 定款（河野）→承認

以下の補足説明がなされた。

- ・ 第 2 条について、事務局は代表の勤務先とした。
- ・ 第 3 条 (2) について、国際リハビリテーションに固有の技術はあるという考えのもと、その確立を図る。
- ・ 第 3 条 (3) について、国際リハビリテーションに関する職域をこれまで以上に広げる。
- ・ 第 4 条について、学術集会を柱として活動を進める。
- ・ 第 5 条について、会員はセラピストに限らず、関心ある人を広く受け入れる。正会員が一般会員を示す。
- ・ 第 11 条について、総会は正会員をもって構成する。学生、賛助会員は含めない。総会の中で本会活動を承認する。総会は年 1 回開催、1/5 以上で成立とする。
- ・ 第 27 条の事業年度について、今年度は本日より来年 3 月 31 日までとなる。
- ・ 第 37 条の定款に含まない施行細則より、会費について説明。

【質問と回答】

- ・ 理事会は理事の 1/2 以上で開催されるとあるが、国外の理事がいる。遠隔地からでもスカイプ等で参加できるようにするか。さもないと開催が難しいのではないか。（笹田）
→一堂に対面で会を持つのは難しいと考えられることから web 上の会議を予定している。（河野）
- ・ 第 3 条の学生会員について、大学院生を除くとあるがどういう意味か。（塩田）
→大学院生は一般に働いている人が多いため、正会員になってほしいという考えによる。大学院生は研究者の卵であり、学会発表が業績として本人の利益になることから、正会員と同じ利益を得られると考えられるため、正会員とする。（河野）

2) 第2号議案 理事・監事・代表の選任 (河野) →承認

- 本会の構成として、事務局以外に、会の目的の(1)～(3)に対応させた3部会を設置する。理事もこの中のいずれかの部を担当する。
- 理事9名の紹介。出席している河野、石井、中村、亀田、松尾については起立して挨拶。欠席の知脇、広田、石本、大室については河野より、所属、担当部門について紹介。
- 監事2名の紹介。出席している大塚、笹田が起立して挨拶。
- 理事9名、監事2名について定款では任期3年だが、今年度が短い実質2年半の任期を務める。

3) 第3号議案 2018年度活動計画 (河野) →承認

2. 事業の実施に関する事項

- 本会の活動として、学術大会、各地でのイベント・勉強会、リハ関連学会のサイドイベントを毎年度実施していく。今年度の活動については以下の通りである。

① 学術大会の開催

- 第2回目となる今年度は、2018年11月24日、聖心女子大学聖心グローバル共生プラザにて開催する。演題募集を8月13日～9月17日で行う。
- 技術部と職域部が学術大会の中でそれぞれ企画を実施する。職域部については、活動報告と就職説明会、技術部については何らかの技術研修を行う。

② 各地でのイベント・勉強会

- 当面は東京開催が多くなると考えられるが、色々な地域で、その地域の会員・理事を中心に活動を実施していきたい。
- リハビリテーション関連学会でのサイドイベントについて、OTの全国学会で実施、PTは部会ごとにわかれているが、学会期間中に何か実施する(懇親会も可)。
- 今年度は河野と石本で9月のOT学会(名古屋)で国際リハフェスを実施する。既に募集を開始している。OT学会と併催だがOTに限らず興味のある方、行ける方の参加を促す。
- 西日本支部の広田と林で企画している、ハンセン病コミュニティースタディーツアーの内容と期日について説明。なるべく多くの会員の参加を促す。また、担当理事のいる大分で文献抄読会を毎月1回開催する。

③ 国際リハビリテーション学のWeb講座の開講

- 検討チームを作って、今年度中に1～2回配信する予定である。取りまとめは松尾(松尾)
- 主担当の大室がハンガリー在住につき制限があるため、松尾が取りまとめ役を担う。タスクフォースメンバーを絶賛募集中である。興味のある人は松尾まで。(松尾)
- ロンドン大学の障害と開発のウェブ講座(無料)、海外の有料のウェブ講座などをイメージしている。当面は日本語で提供する。協力隊参加者の参考になるような講座を持つ。当面は3部門で協力して取り組んでいく。興味のある人は参加してほしい。(河野)

⑤ 研究会ホームページ および ⑥ ニュースレターの発行

- ルーチンワークとして、理事会開催、研究会HP作成がある。できる人は協力をお願いしたい。ニュースレターを配布したいと考えている。

【質問と回答】

- 会員を増やした方がいいか、地道に活動して自然に増える方がいいのか。(大塚)
→会員は増やしていきたいと思っている。3～5年のうちに学会にすることを旨とする(学術誌を発

行する)。会員としては300～400人は必要であると予想される。国際看護研究会が、会員数が300～400になり、予算規模が学会誌を発行できる規模になったことを期に学会化をしたことを参考にした目安人数である。周りに興味のある方がいたら紹介してほしい。(河野)

- ・ 今回初めて英語略称を知った。ロゴマークがあるとアピールしやすいのではないか。(宇津木)
- ・ ロゴは必ず必要である。ロゴは緊急課題であり、作成予定である。(河野)

4) 第4号議案 2018年度予算 (河野) →承認

- ・ 今年度の今後の活動について審議。
- ・ 学術大会の経費、管理費(ニュースレター、会員管理)を予算に計上している。

(5) その他 (河野) →承認

1) 2019年度の活動予定

会員の自発的な活動を奨励している。基本的には独立採算である。アイデアを募る。。

a. 第二回通常総会・セミナーの開催

- ・ 来年度は2019年4月頃の開催を予定

b. 第1回西日本支部活動報告会


- ・ 熊本で開催する予定。日時は未定。
- ・ 来年度はOT学会が福岡であるため、サイドイベントを福岡で実施する可能性がある。協力をお願いする。


c. 海外へのスタディツアーの検討

- ・ 北原病院の活動を有志で見学に行く、AARのプロジェクトを見学に行く、など。担当は未定。タスクフォースとして担当を募って進めていく。

2) 事務局の紹介

- ・ 担当、氏名、職種を、出席者(当日事務局追加の2名を含む)は個々に、欠席者は河野より紹介。

代表: 河野 真 

議事録署名人: 石井 靖子 

議事録署名人: 林 寿恵 